

ISHIKARI NUMATA BREWERY

公設民営「石狩沼田ブルワリー」が醸造開始



▲「石狩沼田ブルワリー」の内装

【工場概要】

運営

LASTLAND 合同会社（指定管理）

年間醸造量

12kl～14kl 規模

建築面積 73.9㎡

工期 5月31日～11月15日

工事費

建築主体工事 37,345,000 円

電気設備工事 4,202,000 円

機械設備工事 8,910,000 円

全国初となる公設民営クラフトビール醸造所「石狩沼田ブルワリー」が4月15日（火）から醸造を開始しました。

当工場は、新たな特産品としてクラフトビールを製造・販売し、「関係人口」「交流人口」の拡大により地域経済の活性化を図ることを目的に建設され、地域おこし協力隊としてクラフトビールの製造等の活動を行っていた村上信吾さんが代表を務めるLASTLAND 合同会社が指定管理者として、運営を担っていただきます。

また製造されたクラフトビールの売上の一部は、沼田町に住む子ども達のために活用させていただきます。



▲醸造開始セレモニーに沼田小中学校から林ゆずなさん（中3）、大江龍櫻さん（小6）が参加されました

稼働開始に伴い、見学会を開催しました！

道内初となる公設民営ブルワリーの稼働開始に伴い、醸造施設の見学会が3月27日（木）に開催されました。

実際にクラフトビールが作られている過程を間近で見ることができ、訪れた方々は製造工程に関する詳しい説明を真剣に聞いていました。

クラフトビール開発を主導した地域おこし協力隊員の村上信吾さんは、「皆さんに愛され、長く飲まれていく味を目指して頑張りたい」と力強く話されました。

